

県内随一の農地集積率を誇る地区で 先進的な営農を強力サポート

岐阜県海津市「高須輪中保全広域組織」
取材・文／宗像幸彦 撮影／多田昌弘 写真提供／高須輪中保全広域組織



(上)高須輪中地区の営農を支える土地改良区の皆さん。(中央右)農地維持支払交付金を活用し、遊休農地発生防止のため、芋を植えて保全管理している。(中央左・右下)広域組織内の「平原保全管理組合」では、景観形成のためのハーブガーデンや、雑草を防ぐためのカバープランツなどの取り組みも見られる。

の2年3作体系を確立していること。また、一部の農事組合では、キャベツ、じゃがいも、トマトといった高収益作物の栽培に計画的に取り組むなど、先進的な営農が行われています。

このように、県下有数の農業地域である高須輪中地区。平成29年度には、「多面的機能支払交付金」の効率的な活用を目的に、「高須輪中保全広域組織」が設立されました。

「先進的な営農を志すにあたり、どうしても避けられない課題が排水施設の保全管理です。とくに排水路は老朽化が進み、傷みがかなり激しい箇所も多く見受けられました。広域組織として多面的機能支払交付金を活用し、保全管理に努めたいと考え、管内の各組織に賛同をお願いして回りました」と話すのは、事務局長の森治一さん。

初年度の平成29年には27組織が、また翌30年には11組織が新たな広域活動組織に参加しました。平成29年度3月時点の認定農用地面積は1511ha(田んぼ1377ha、畑134ha)。農業用施設は開水路307・7kmのうち57・7kmが長寿命化の対象に、またパイプラインが259・1kmとなっています。

暗渠排水の整備および長寿命化が収量と収入のアップにつながる

「農地維持支払交付金」は、農地法面の草刈り、水路の泥上げなどに活用されています。

また「資源向上支払交付金」は、共同活動として農道のくぼみ補修、排水路のひび割れの補修や長

寿命化などに充てられています。

「施設の長寿命化のための活動として、老朽化によって機能に支障が生じている暗渠排水の補修・更新を行っています。暗渠排水の設置間隔を狭めるなどの対策を講じることで、排水機能が向上し、確実に収量も増えています。営農者の利益に反映されていることがなにより喜びです」と森さん。

その他、遊休農地発生防止のために、芋を植えて保全管理する集落や、夏期にジャンボタニシなどの外来種駆除を実施し、地域の小学生たちと一緒に草刈りや駆除作業を行う集落も見受けられます。

中でも熱心な活動を展開しているのが、管内でもトップクラスの受益面積を持つ平原保全管理組合。ハーブガーデンをはじめとした植栽による景観形成や、カバープランツを用いた雑草防止対策、さらに環境に配慮した土壌硬化剤マグホワイトを使用して草刈り作業の負担を軽減するなど、画期的な取り組みを実施しています。将来的にはビオトープの設置も計画しており、地域を挙げて環境保護に取り組む機運が生まれています。

現在、38の組織を束ねる事務局の役割を土地改良区は担っています。森さんは、「組織単位で見るとまだまだ収入の格差がありますが、誰にとっても充分な営農環境を整備するのが我々の使命。今後は個人事業主の方々にも広域化の賛同を求めています」と考えています。そして、今まで以上に安心して営農していただきたい」と意気込みを語ってくれました。



左が高須輪中土地改良区事務局長の森治一さん。右が福島謙治さん。共に保全広域組織に尽力する。

ブランド米・ハツシモをはじめ 米・小麦・大豆の2年3作体系を確立

岐阜県の最南端に位置し、長良川、木曾川、揖斐川に囲まれた地域は、古くから「輪中」と呼ばれてきました。これら木曾三川の沖積作用によって陸化された輪中は、海拔0m以下の平坦な低湿地帯。そのため、戦前は洪水や湛水被害に悩まされながら、田舟による人力中心の農業が営まれてきました。しかし、戦後から昭和40年代にかけて、さらに昭和55年度から平成13年度まで行われた二度のほ場整備事業により、大規模化や省力化を実現し、現在は県内有数の穀倉地帯となっています。

この地域を管轄していた6つの土地改良区が合併し、高須輪中土地改良区が設立されたのは平成6年のこと。現在、受益地は海津市、羽島市、輪之内町にまたがり、面積は約3000haに。担い手への農地集積率は全国平均54%を大きく上回る71%となっています。(海津市)。

その営農の特徴は、岐阜県の奨励品種であるブランド米・ハツシモをはじめとした水稲、小麦、大豆

「農地維持支払交付金」での取り組み



農用地法面の草刈り、水路や側溝の泥上げは、農地の保全管理において欠かすことができず、定期的に行っている。



「資源向上支払交付金」での取り組み



(右)学校教育や地域と連携し、農村の景観形成を目的に、菊をはじめとした花々を植栽している。(上)ジャンボタニシなどの外来種駆除を子どもたちと一緒に実践。生態系保全に努めている。

高須輪中土地改良区 平成6年2月設立。岐阜県海津市、羽島市、輪之内町の農業用排水施設の維持管理を行う。受益面積3021.3ha、組合員数3,415人、総代50名。担い手への集積面積は県内随一の面積を誇り、次世代への引継ぎに向けた活動も積極的に行っています。
お問い合わせ：0584-53-0003